

学校だより 校訓 《やさしく かしく たくましく》



きむ清らっ子

教育目標 「ひとみ輝く、喜念心清らっ子を育てる」

令和6年4月24日発行

第1号

伊仙町立喜念小学校

伊仙町喜念1番地
TEL 86-2182

令和6年度「自律と承認の学校」 校長 平山 啓

4月8日(月)に、まるでむきたてのゆで卵のように、つややかで真っ白な3名の1年生が入学しました。令和6年度の喜念小学校は、全校児童18名・全教職員11名でのスタートです。

さて、タイトルにもありますとおり、令和6年度は「自律と承認の学校」づくりを推進してまいります。学校の最大の使命は、「子供たちが、自分の明るい未来を信じ、自分の将来を主体的に描けるようにすること」だと信じます。子供たちが明るい未来を描けるようにするためには、「自分の存在価値を感じられること」「自分が他者に必要とされていること」を感じ続けることが必要不可欠ではないでしょうか。あわせて、子供たち自身が当事者意識をもって、学習にも様々な活動にも自律的に向かう力を育むことが必要不可欠ではないでしょうか。

以下は、始業式にて、子供たちに話した「令和6年度に目指すもの」です。

○ 責任ある自己決定

先生から、あるいは、お家の方から、アドバイスをすることはできます。でも、そのアドバイスを生かすか否かは自分自身です。責任ある自己決定をしましょう。そのために、たくさん「どうする?」と尋ねます。

○ 自己承認・他者承認

学校は、誰一人取り残すことなく成長する場所です。そのためには、気持ちが上向きである必要があります。自分に、そして、友達に「イイね!!」を送り続け、全員で上向きの気持ちにしていきたいと思います。

どうぞ、自律・承認を通じた笑顔あふれる学校づくりへのご理解・ご協力を賜りますとともに、ご家庭・地域でも、子供たちの自己決定や努力・存在を認め、励ましていただきますようお願い申し上げます。

注目! 児童の記事「入学おめでとう!!」

4/8(月)に行われた入学式では、3名の子供たちが入学しました。ほくは、どんな子が入学してくるのかなと、ドキドキしていました。小さくてかわいい1年生が入学してきて、ほくもこんなに小さかったんだなと思いました。入学した新1年生も、今では毎日楽しく、元気に学校生活を送っています。やさしくしていきたいし、何でも教えてあげたいです。【記事作成者…6年 元岡 真希也】



令和6年度 新任式・1学期始業式

4/8(月)に、令和6年度の喜念小学校の教育活動がスタートしました。新任式では、新たに4名の職員を迎えました。また、始業式では、6年生の代表児童が、最上級生になった心情と努めていきたいことについて、たいへん立派な姿で述べてくれました。

新年度にあたり、子供たちはみんな希望に燃えています。「やるぞ!!」との気持ちを大切にしながら、本年度の教育活動を進めていきます。



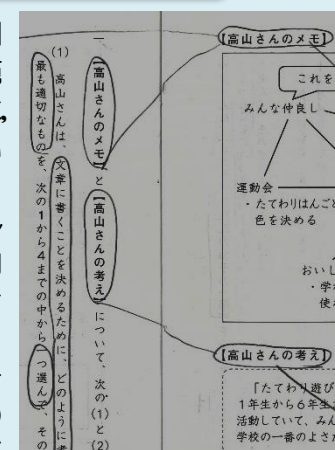
4名の着任者 ~どうぞ、よろしくお願ひします~

教頭	鎌田 麻衣子	南九州市立九玉小学校 より
教諭	住 裕太	鹿児島市立西田小学校 より
教諭	北山 敬祐	鹿屋市立下名小学校 より
講師	向井 照美	伊仙町立馬根小学校 より

全国学力・学習状況調査

4/18(木)に、全国学力・学習状況調査が実施されました。6年生2名は、令和4年度から継続している「作業」を使いながら、精一杯に取り組んでいました。結果を踏まえ、学力向上への取組に生かしていきます。

※「作業」とは、情報を確実につかみとるための手法です。情報を囲んだり線をつないだりして、意識化・焦点化を図ります。



命を守る ~交通教室、地震・津波避難訓練~

「行ってきますと言って家を出たら、必ず、ただいまと言って帰らなければいけない。」これは、毎年、子供たちに伝えていることです。「行ってきますと言って家を出て、二度と帰らなかった」などという不幸は、絶対にあってはなりません。命を守ることは、何よりも大切です。訓練の時だけでなく、日頃の教育活動においても、繰り返し指導を続けていきます。



令和6年度 喜念小学校



「自律・承認」

学年	計	学級担任	学級担任外
1年	3(1)	住 裕太	校長 平山 啓
2年	4		教頭 鎌田 麻衣子
3年	1	美藤 七瀬	養護教諭 白倉 睦美
4年	6(1)		事務職員 及川 和加代
5年	2	北山 敬祐	用務員 関 千代子
6年	2		支援員 清水 ひとみ
ひまわり	(1)	向井 照美	※ 児童数の()は再掲
たんぽぽ	(1)	奥村 織江	